

## 国際婦人デー集会に寄せられたメッセージ 労働社会科学研究所からのメッセージ

### より階級的な女性運動へと前進する3・8国際婦人デーのために

#### 韓国・労働社会科学研究所運営委員会

今年も、わたしたち研究所から日本の同志のみなさんに国際婦人デー集会への連帯メッセージをお送りすることができて、うれしく思います。

日本の労働者・人民大衆、とりわけ女性の人民が経験している貧富の格差、貧困、非正規雇用、家事労働や介護労働の負担などの苦しみは、そのまま韓国の労働者・人民大衆と女性の人民が経験している現実でもあります。

そのうえ韓国では、昨年新たに登場した極右の尹錫悦検察政権が、労働者階級、とりわけ闘う組織労働者に対して、露骨にファッショ的な抑圧を加えています。労働者たちのストライキ闘争が、北側朝鮮の指令・命令によるものであるというスパイ事件を捏造して、また労働組合の「違法行為」を捜査するとして、国家情報院と警察を動員し、民主労総本部をはじめ全国各地の労働組合、農民会、進歩党などの事務室と指導者たちの住居を押収捜索しており、労働者・農民たちを逮捕、拘束しています。数十年にわたる艱難辛苦の闘いをつうじて確保してきた、そのわずかな民主主義的成果をだいなしにしているのです。

女性の問題にかんして言えば、尹錫悦政権は女性家族部（訳注——「部」は日本政府の「省」に相当）を廃止し、その固有の業務を他の機関に分散、移転することを「政府組織の改編案」のおもな内容の一つとしています。これは、ブルジョワ民主主義の枠内で行なわれていた女性政策の後退を意味します。さらに、尹錫悦極右政権が今年一月二十六日に発表した「第三次男女平等政策基本計画」では、これまでの「男女平等政策基本計画（2023—2027）」のなかにあった「女性暴力」〔女性に対する暴力〕という用語がすべて削除されました。これは、資本主義社会としての韓国社会に蔓延する、女性を対象とした暴力犯罪、女性が体験する差別の日常性に対する否定にほかなりません。

いっぽう、こんにちの資本主義世界経済は、周知のように慢性的な過剰生産と危機に悩まされており、それに対する国家独占資本主義的対応の後遺症としてのインフレーションは、労働者・人民大衆の生活をさらに圧迫しています。米・中対立の激化など、いついかなるところで核兵器使用を含む大戦争、人類終末の大戦争に発展するかもしれない展開をみせている国際情勢も、一年以上続いて人民大衆の生活を破壊し女性に暴力を加えているウクライナにおける帝国主義戦争も、その根本原因はすべて、資本主義世界経済のこのような長期的、慢性的な危機から発するものです。

資本主義経済危機がよりいっそう深刻化すればするほど、帝国主義間の破滅的な戦争、大戦争の危機もまたよりいっそう激化し、労働者・人民大衆に対する、女性に対する資本の反動的攻勢もよりいっそう強化されることは間違いないでしょうが、これはもちろん労働者・人民大衆と女性の組織的・革命的進出の可能性をも含んでいるのではないのでしょうか？

この可能性を現実化することこそ、この危機の時代を生きるわたしたち男女労働者・人民の歴史的使命でしょう。帝国主義戦争に反対する反戦・平和闘争はもちろん、それを超えて資本主義体制そのものを廃止し、新しい社会を建設するための闘いは、女性運動と労働者階級運動が直面する厳重な課題です。

戦争がない世界、人間による人間の搾取がない社会、男性による女性の支配がない社会をつくるために積極的に闘いましょう！

搾取と抑圧、戦争を生み出す資本主義体制を廃止するその道に、わたしたち労働社会科学研究所は日本の同志たちとともに進んでいきます。

ソウルにて

【訳＝土松克典】

(『思想運動』1087号 2023年4月1日号)